

分娩機関の皆様へ

<Windows7、Windows8、Windows8.1の導入について>

Windows7、Windows8、Windows8.1を導入したパソコンのご使用にあたり、以下の設定作業を行っていただく必要があります。

誠にお手数ですが、次ページ以降に記載しております手順に従い更新作業を行っていただきますようお願い申し上げます。

※お使いのパソコンのInternet ExplorerのバージョンおよびOS種類の確認方法については、19ページに掲載しておりますのでご参照ください。

※ご不明な点等がございましたら、以下までお問い合わせください。

Windows7、Windows8、Windows8.1の導入に伴う設定

設定1：USBキー証明書ソフトの更新手順	・・・・・・・・	P1
設定2：信頼済みサイトへのWebサイトの追加	・・・・・・・・	P9
設定3：互換表示設定の追加	・・・・・・・・	P11
設定1～設定3を行っても、ログインできない場合	・・・・・・・・	P13
《参考》お使いのパソコンのOS・Internet Explorerの確認方法	・・・・・・・・	P21

産科医療補償制度専用コールセンター

電話：0120-330-637

受付時間：午前9:00～午後5:00（土日祝日・年末年始を除く）

設定1

USBキー証明書ソフトの更新手順

- ①産科医療補償制度のホームページ（<http://www.sanka-hp.jcqhcc.or.jp/index.html>）へアクセスし、「分娩機関の皆さまへ」⇒「加入手続き」をクリックしてください。



- ②「専用Webシステムの導入要件」をクリックしてください。



③ 「CD-ROM装置」の項目より証明書を受け取られた時期のソフトをダウンロードして下さい。

詳しい内容はこちら

補償申請期限のご案内
についてはビデオでも
解説しています。

産科医療補償制度
専用コールセンター
0120-330-637
受付時間:午前9時～午後5時
(土日祝除く)

■PDF閲覧ソフト
AdobeReader 11、Adobe Acrobat Reader DC

■USB関連機器
USB関連機器が使用できること※
※ USB関連機器が使用できないもの、専用Webシステム導入を希望される場合には、CD-ROM

■CD-ROM装置
CD-ROM装置があること
※ CD-ROM装置がない場合には、以下のソフトをダウンロードしてください。
・2017年7月以降に証明書を受け取られた方は、[こちらのソフトをダウンロードしてください。](#)
・2017年6月以前に証明書を受け取られた方は、[こちらのソフトをダウンロードしてください。](#)
(管理者権限<Administrator>をもつユーザでパソコンを立ち上げてください。)

お問い合わせ 産科医療補償制度専用コールセンター 受付時間:
0120-330-637 午前9時～午後5時
(土日祝除く)

※ なお、03-5800-2231でもおかけいただくことができます。

④ 「ファイルのダウンロード」の画面が表示されますので、ファイルを「開く」を選択すると、ダウンロードが始まります。

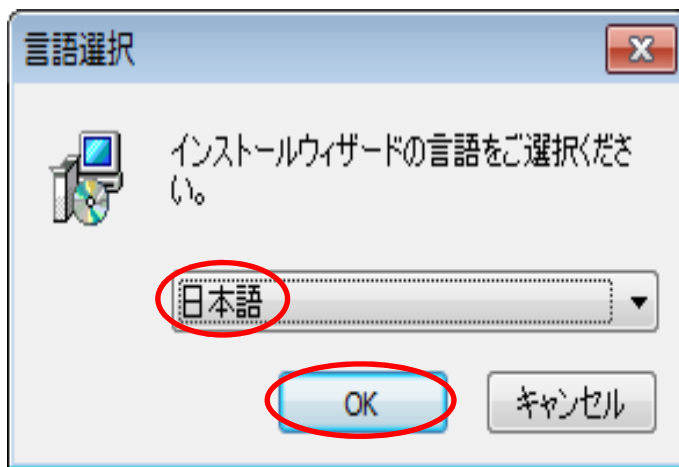


2017年7月以降に証明書を受け取られた方は
3ページに進んでください。

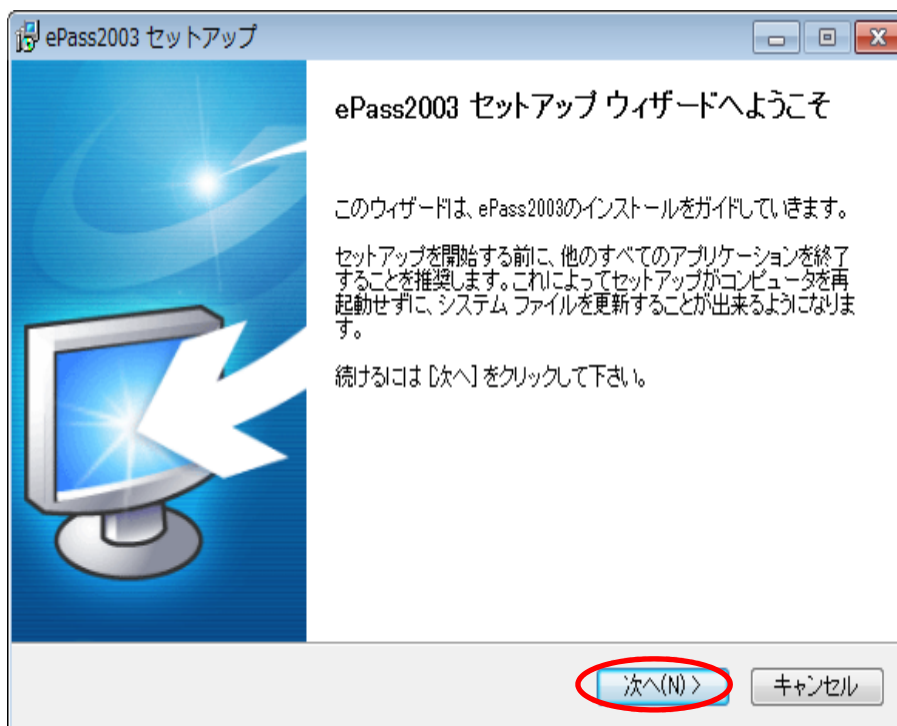
2017年6月以前に証明書を受け取られた方は
6ページに進んでください。

●2017年7月以降に証明書を受け取られた方 (ePass2003のドライバのインストール)

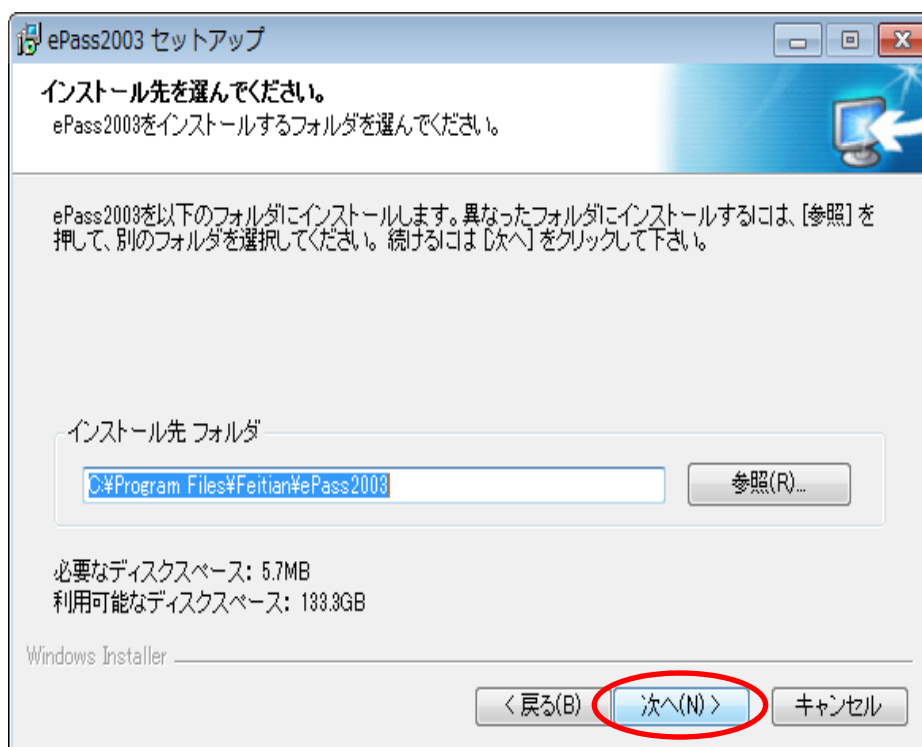
- ⑤ 「ePass2003-setup.exe」のファイルをダブルクリックしてください。
しばらくすると、言語選択の画面が表示されますので、「日本語」を選択し「OK」を押してください。



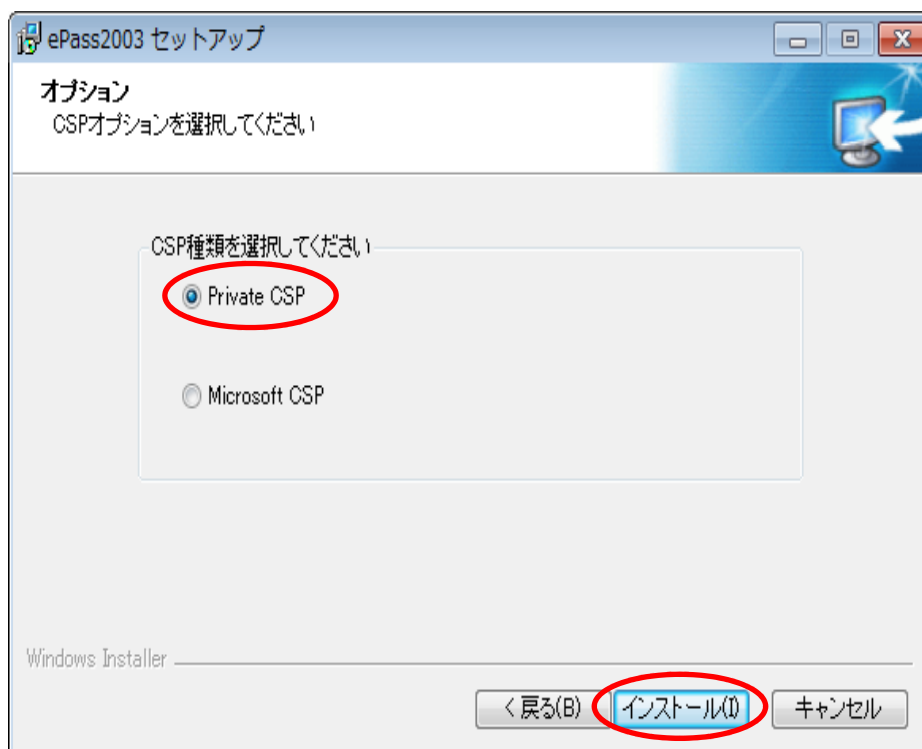
- ⑥ しばらくすると、以下の画面が表示されますので「次に」を押してください。



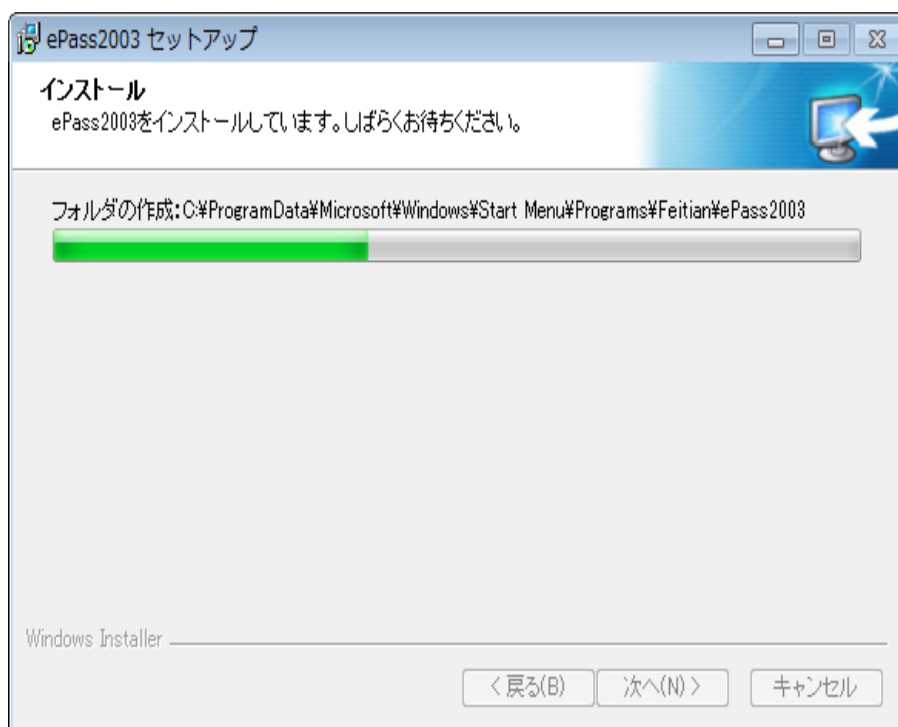
⑦インストール先フォルダは変更せず、「次へ」を押してください。



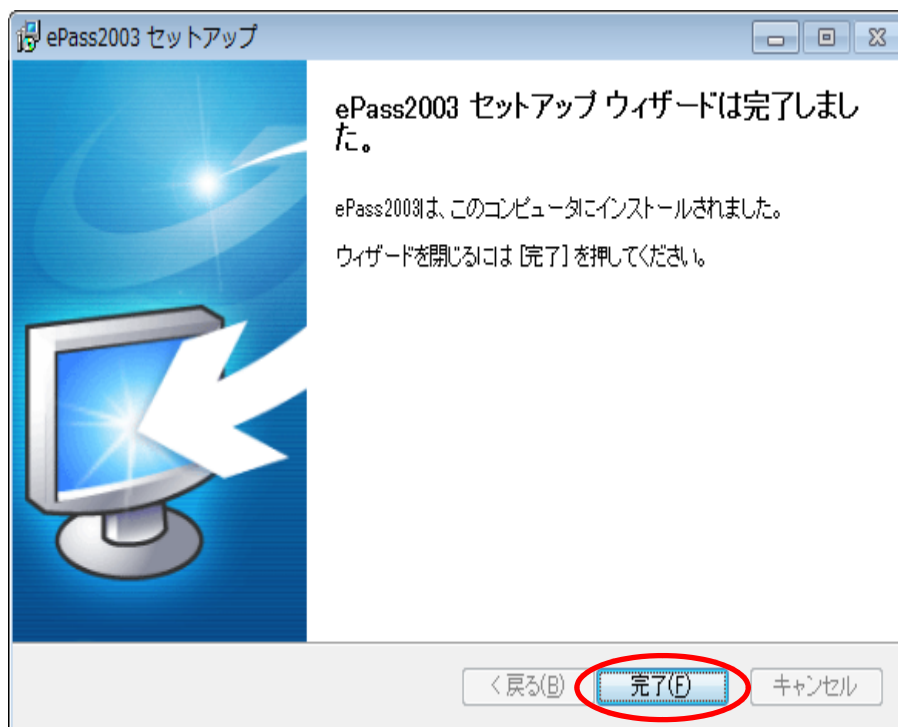
⑧「Private CSP」を選択し、「インストール」を押してください。



⑨ePass2003のインストールが始まります。



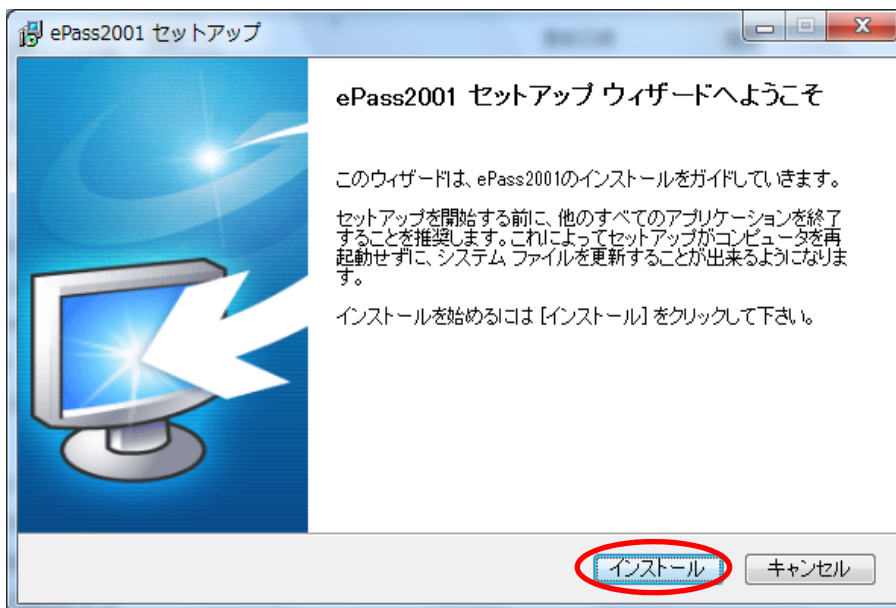
⑩以下の画面が表示されたら、「完了」を押してください。



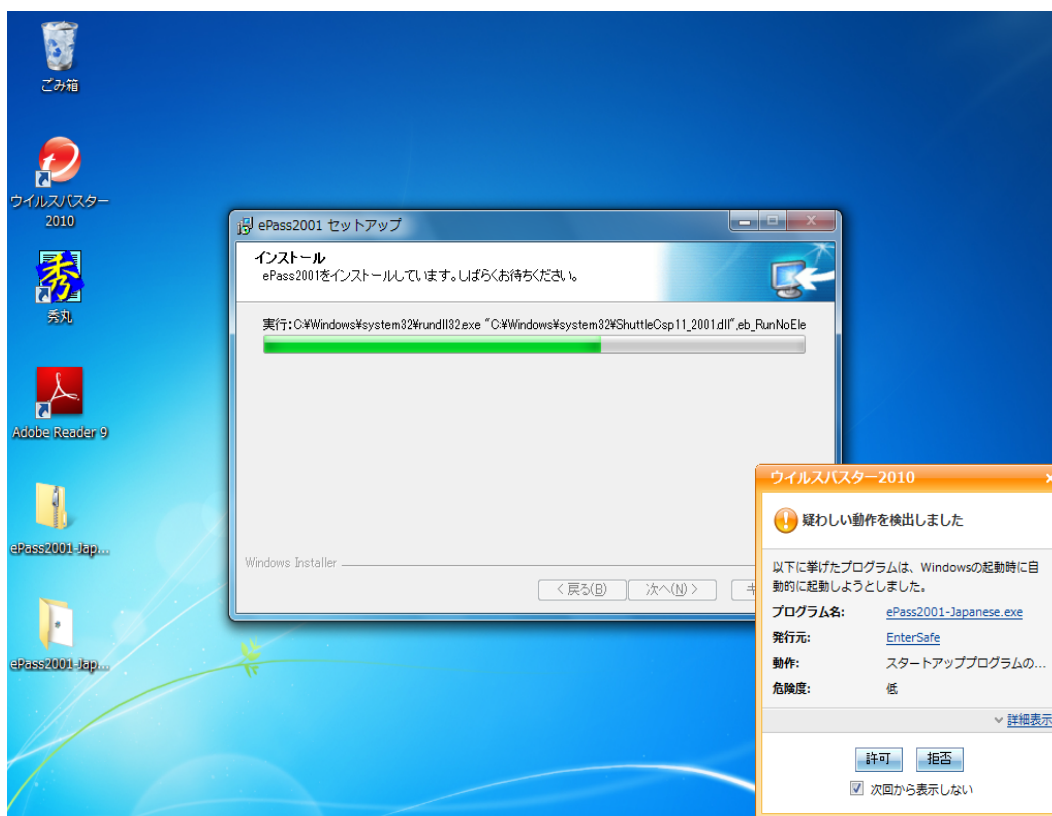
以上で、ePass2003のインストールは完了です。

●2017年6月以前に証明書を受け取られた方 (ePass2001のドライバのインストール)

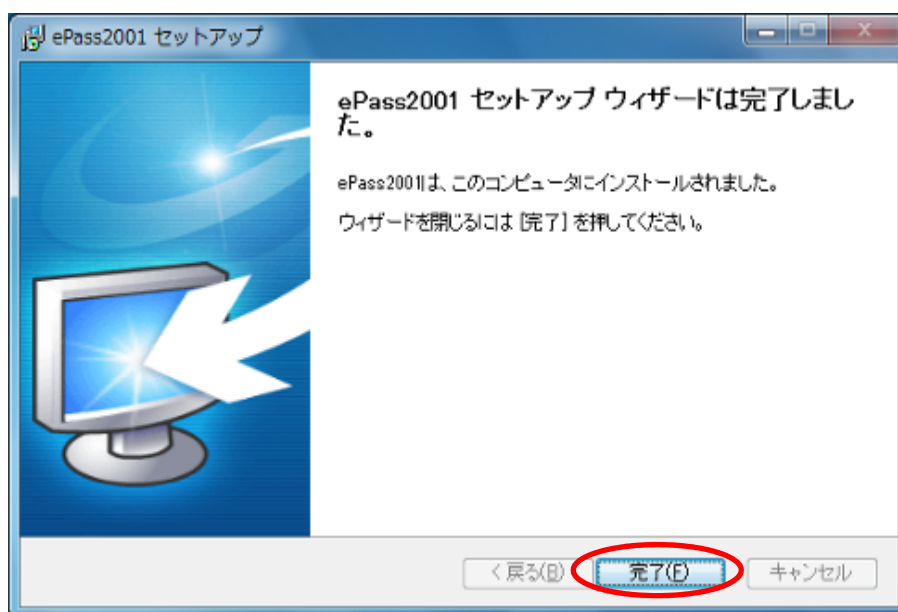
- ⑤' 「許可する」を選択すると、「ePass2001-Japanese」のファイルが表示されますので、ダブルクリックしてください。
しばらくすると、以下の画面が表示されますので「インストール」を押してください。



- ⑥' インストール中、ウイルス対策ソフトがプログラムの変更を検知する場合がありますが、その場合は変更を「許可」を押してください。



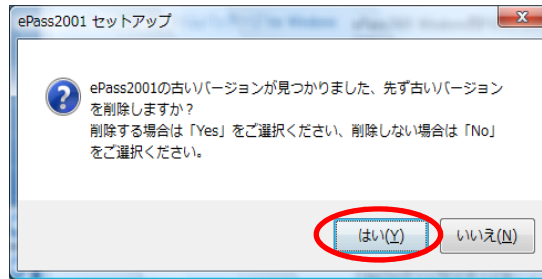
⑦' 以下の画面が表示されたら、「完了」を押してください。



以上で、ePass2001のインストールは完了です。

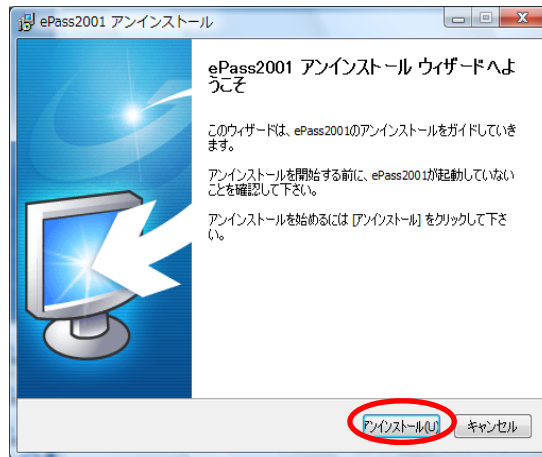
<補足> ePassの古いバージョンがインストールされている場合

- ①既に、パソコンにePassの古いバージョンがインストールされている場合は、以下のような画面が表示されます。新しいバージョンをインストールするためには、この画面の「はい」を押してください。



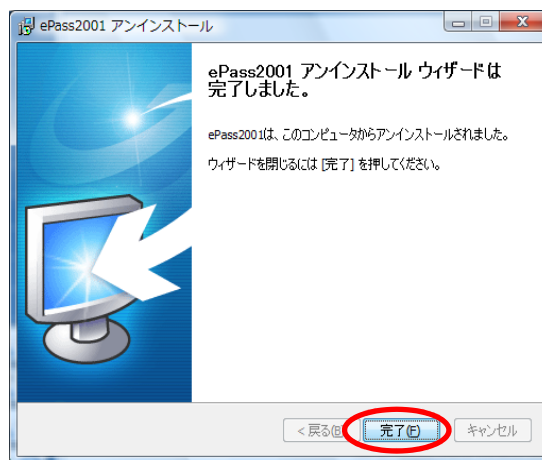
画面は、ePass2001のアンインストールの場合の表示です。

- ②上記<補足1>で「はい」を選択し、「アンインストール」を押すと、ePassの古いバージョンが削除されます。



画面は、ePass2001のアンインストールの場合の表示です。

- ③「完了」を押し、新しいバージョンのePassをインストールしてください。

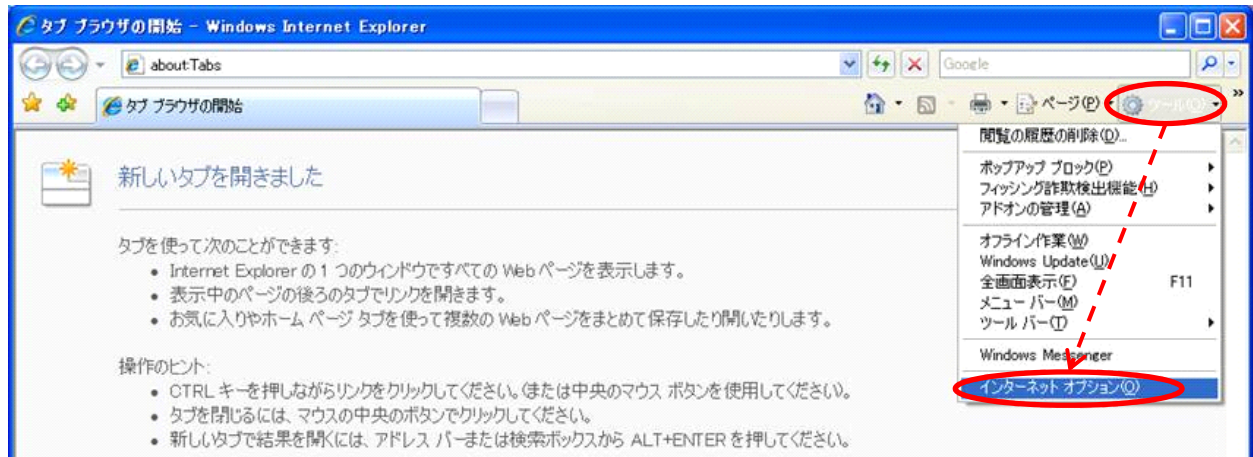


画面は、ePass2001のアンインストールの場合の表示です。

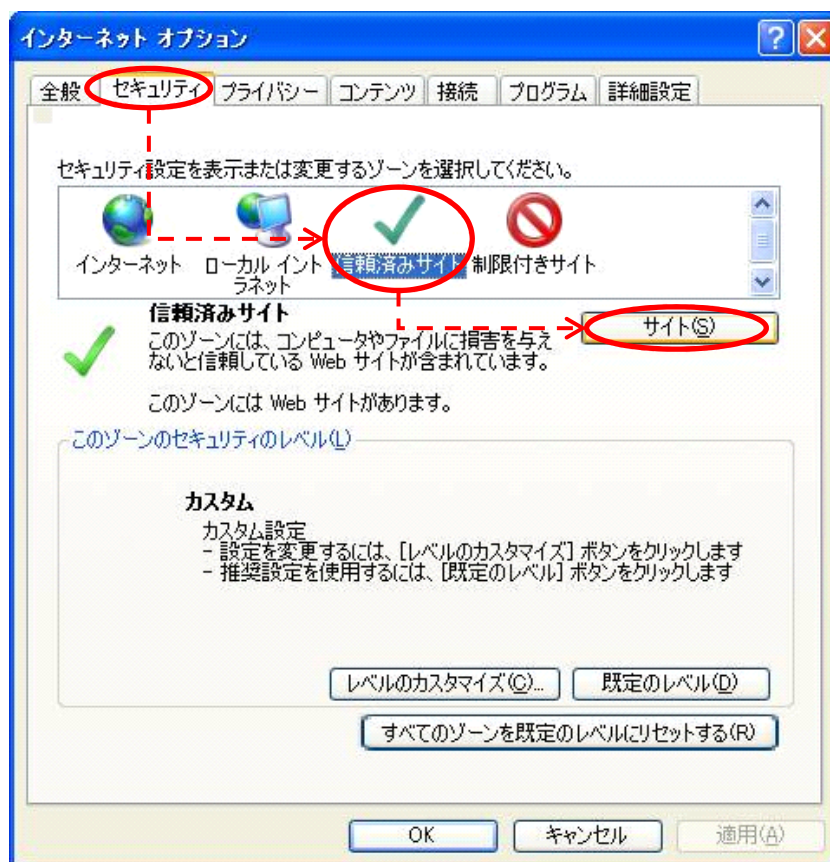
以上で、ePassの古いバージョンはアンインストールされ、新しいePassがインストールできるようになります。

設定2 信頼済みサイトへのWebサイトの追加

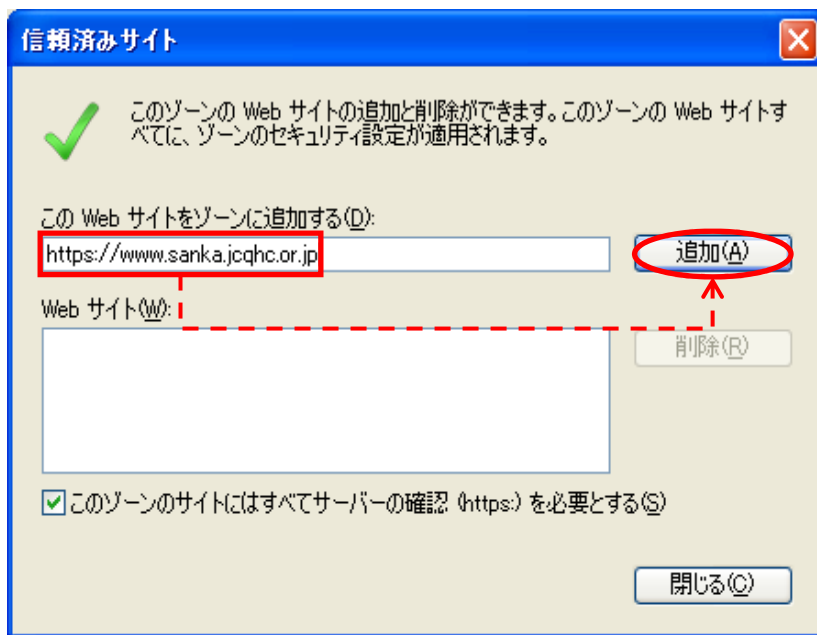
- ① ウィンドウの右上に表示されている「歯車マーク」－「インターネットオプション」をクリックしてください。



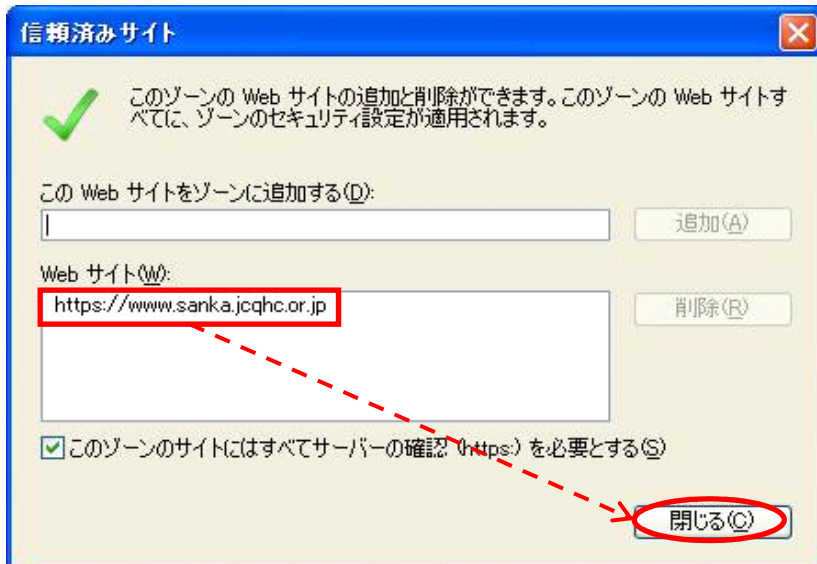
- ② 「セキュリティ」タブを開き、「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」をクリックしてください。



- ③ 「このWebサイトをゾーンに追加する」欄に「https://www.sanka.jcqhc.or.jp」を登録し、「追加」をクリックしてください。



- ④ 「Webサイト」欄に「https://www.sanka.jcqhc.or.jp」と表示されていることを確認し、「閉じる」を押してください。



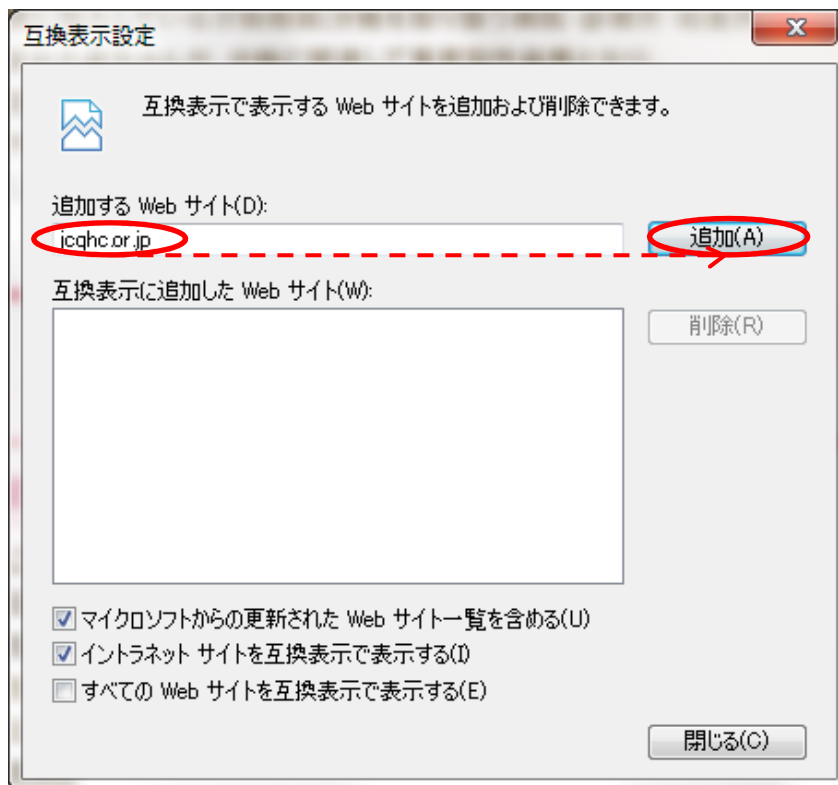
以上で設定は完了です。

設定3 互換表示設定の追加

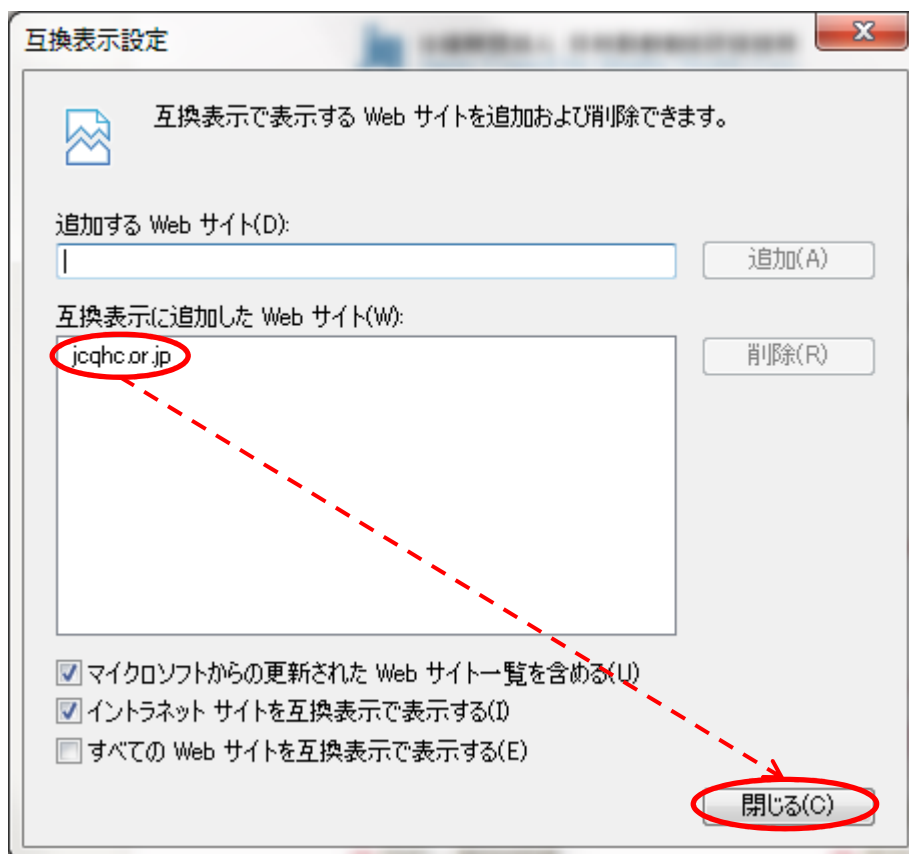
①インターネットエクスプローラーの「ツール」－「互換表示設定」をクリックしてください。



②「このWebサイトの追加」欄に“jcqh.or.jp”と入力し、「追加」をクリックしてください。



- ③ 「互換表示に追加したWebサイト」欄に “jqhc.or.jp” が移動したら、「閉じる」をクリックしてください。

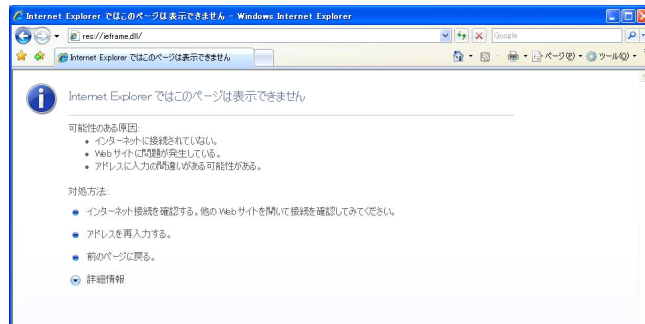


以上で設定は完了です。

設定1～設定3を行っても、ログインできない場合

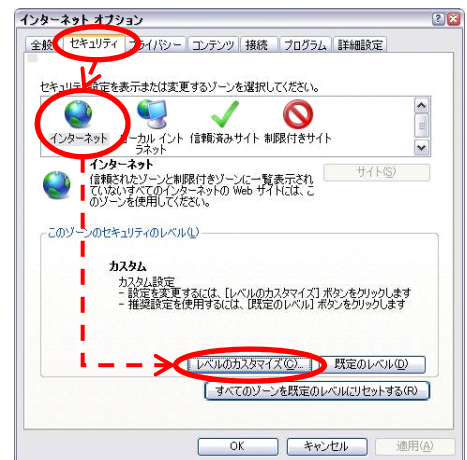
【現象】

ログイン画面へアクセス時、下記画面が表示された場合は、以下の対処方法を行ってください。

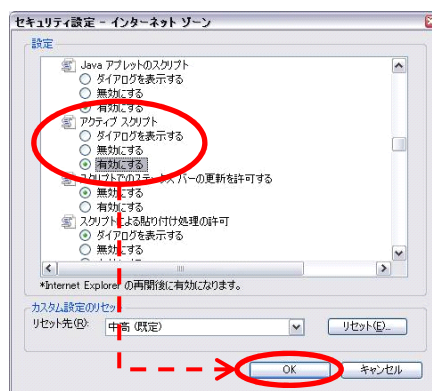


【対処方法1】

- ① 「ツール」－「インターネットオプション」で「セキュリティ」タブを選択し、「インターネット」の「レベルのカスタマイズ」を押してください。



- ② 「セキュリティ設定」の画面で「アクティブ スクリプト」の「有効にする」を選択し、「OK」を押してください。

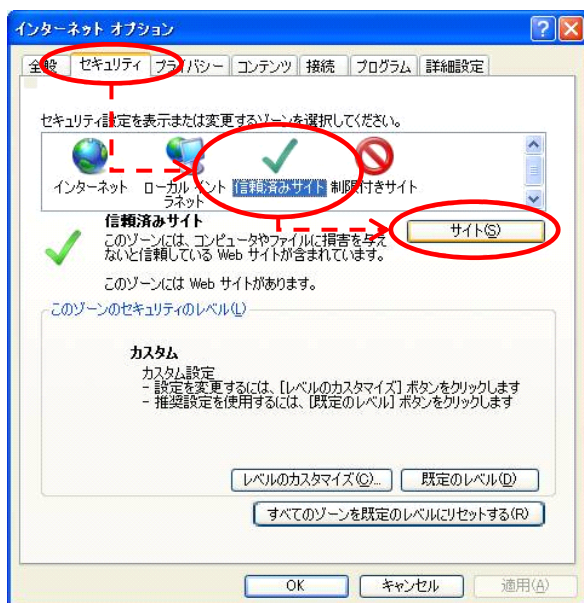


【対処方法 2】

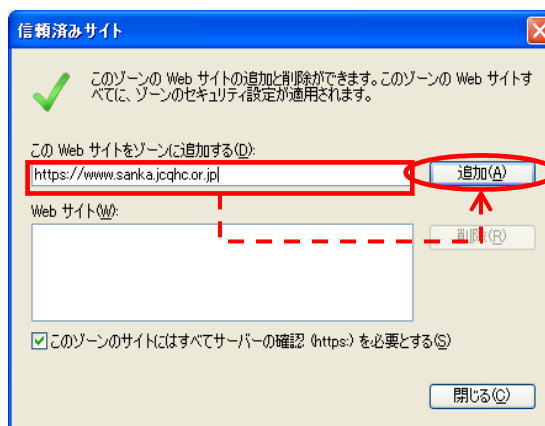
- ① 「ツール」－「インターネットオプション」をクリックしてください。



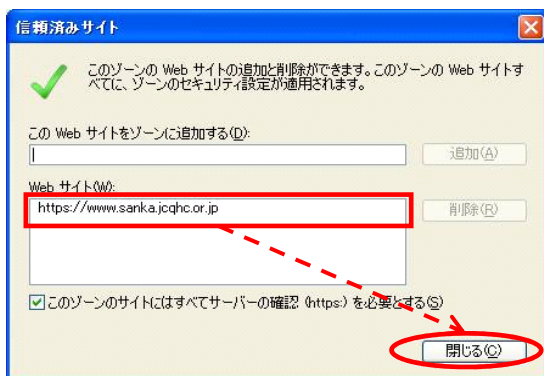
- ② 「セキュリティ」タブを開き、「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」をクリックしてください。



- ③ 「この Web サイトをゾーンに追加する」欄に「https://www.sanka.jcqh.or.jp」を登録し、「追加」をクリックしてください。



- ④ 「Web サイト」欄に「https://www.sanka.jcqh.or.jp」と表示されていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。



.....

【対処方法3】 ポップアップブロックの設定をご確認ください。

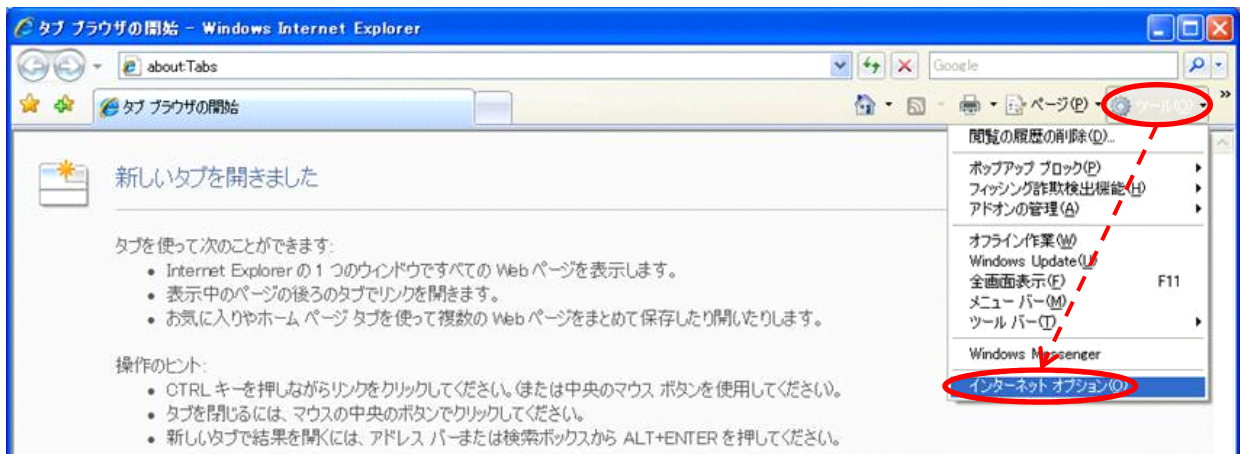
- ①セキュリティソフト（ノートン、ウイルスバスター等）でポップアップをブロックする設定になっている可能性もありますので、ご確認ください。

確認方法は、お使いのセキュリティソフトの説明書等をご覧ください。

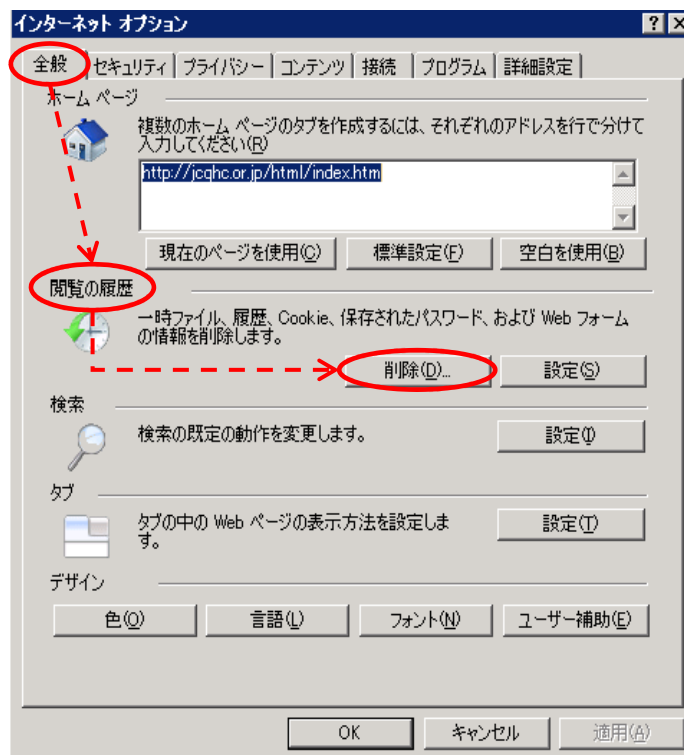
.....

【対処方法4】 「インターネット一時ファイル、Cookieの削除」を実施してください。

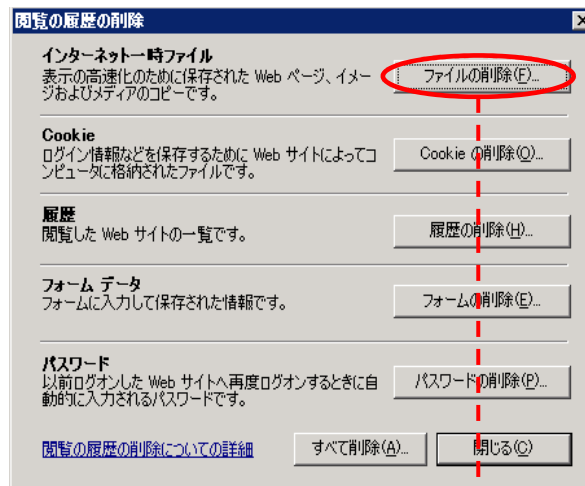
- ①「ツール」－「インターネットオプション」をクリックしてください。



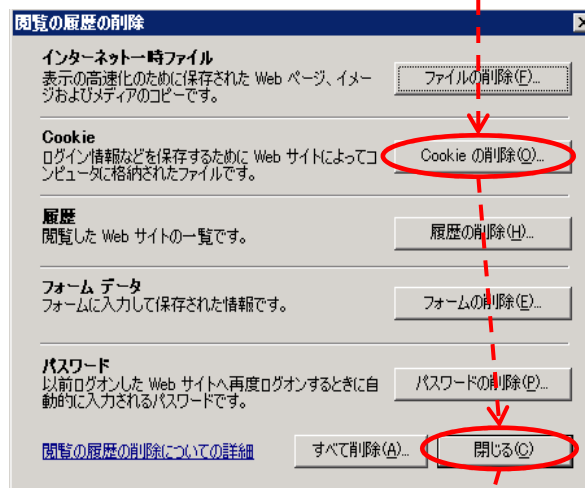
- ②「全般」タブで、「閲覧の履歴」の「削除」を押してください。



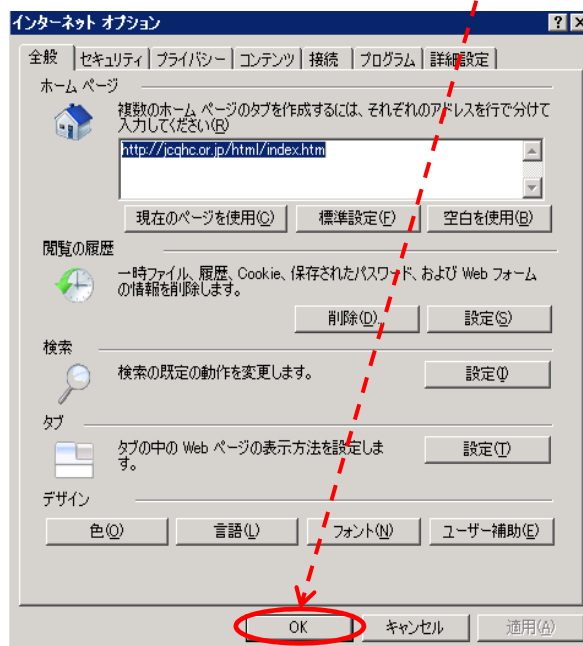
③ 「インターネットの一時ファイル」の「ファイルの削除」を押してください。



④ 「Cookie」の「Cookieの削除」を押してから、「閉じる」を押してください。



⑤ 「OK」を押し、インターネットオプションを終了します。



⑥ Internet Explorerを再起動させます。

.....

【対処方法5】 「インターネット一時ファイル、Cookieの削除」で解決できない場合、「アドオンの無効」を実施してください。

①デスクトップにあるInternet Explorerのショートカットを右クリックし、「アドオンなしで起動」を選択してください。

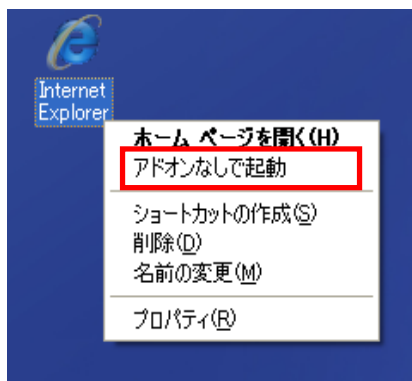
これでWebシステムにログインできた場合は、現在読み込まれているアドオンが影響しています。

次頁以降の手順で、不要なアドオンを「無効」にしてください。

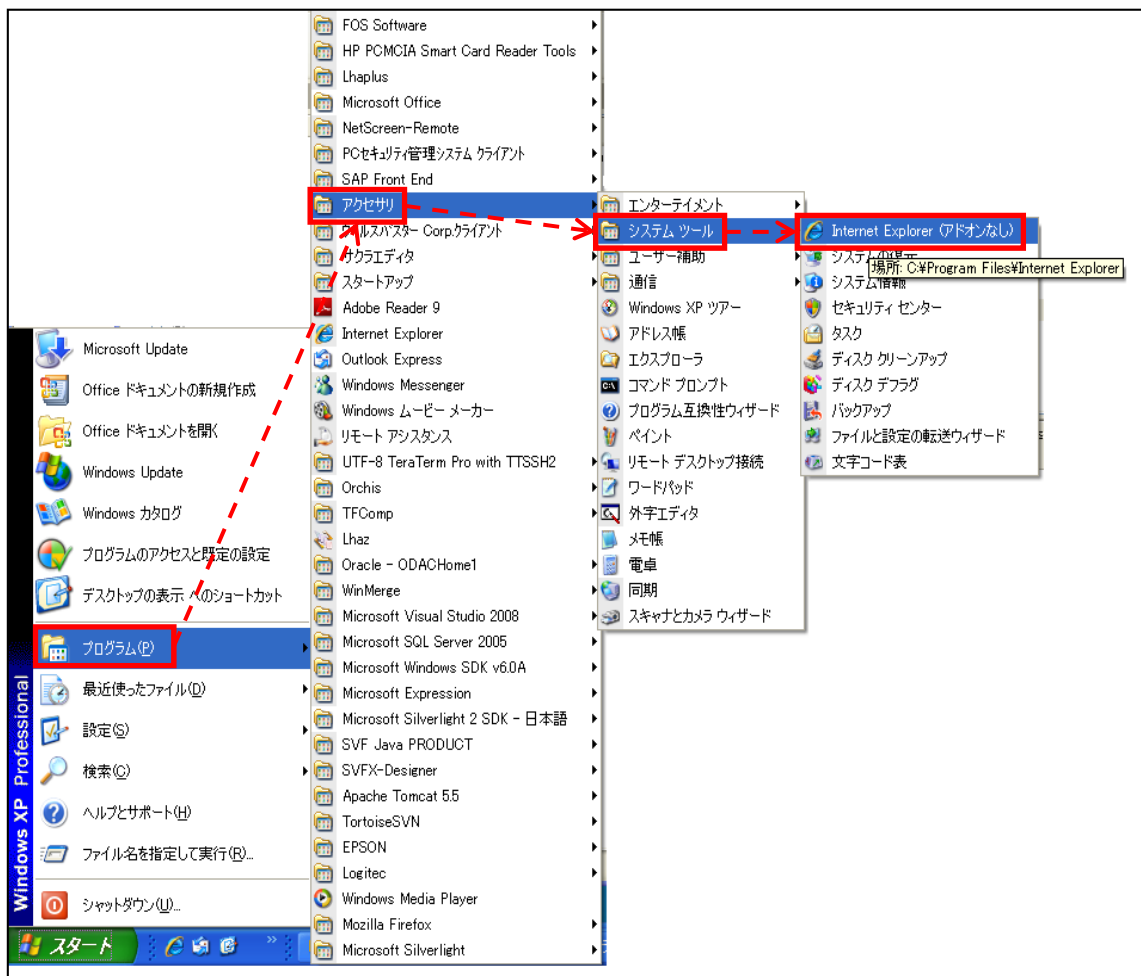
※必要か不要かの判断ができない場合は、すべて「無効」にしてください。

特に「Yahooツールバー」は影響があることが多いです。

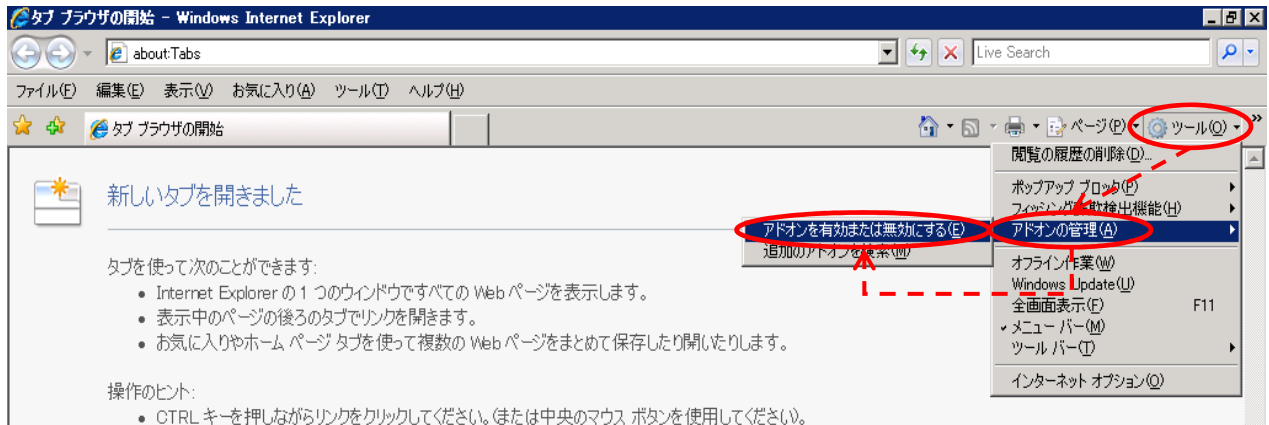
※業務で使用しているアドオンがある場合はご注意ください。



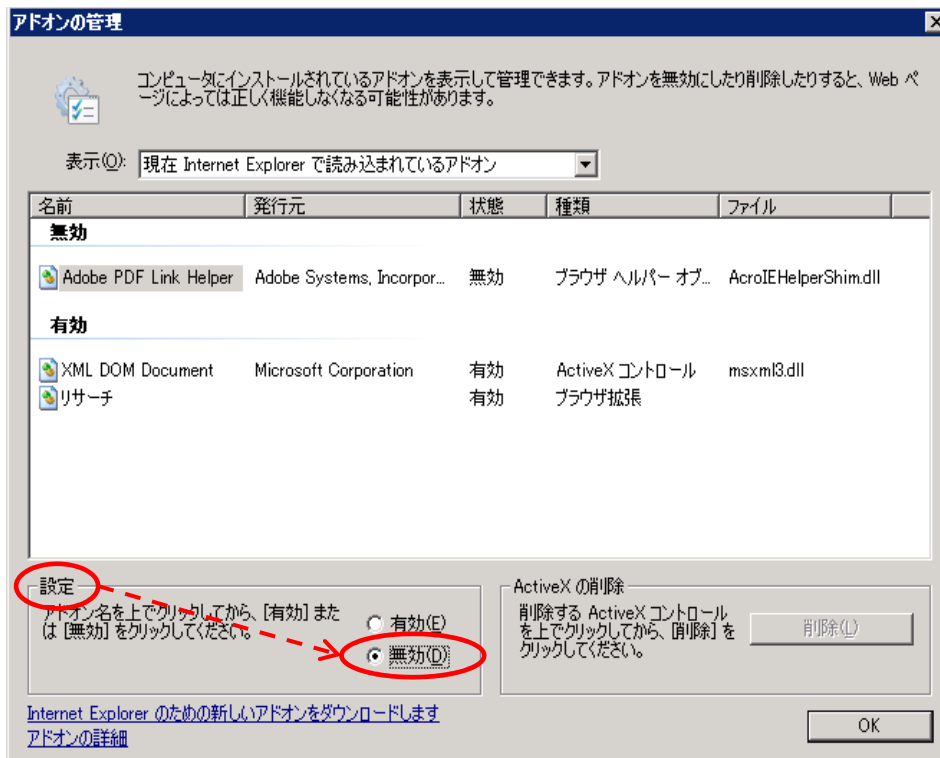
(ご参考) 下記の方法でもInternet Explorerを「アドオンなし」で起動することができます。



② 「ツール」 - 「アドオンの管理」 - 「アドオンを有効または無効にする」をクリックします。

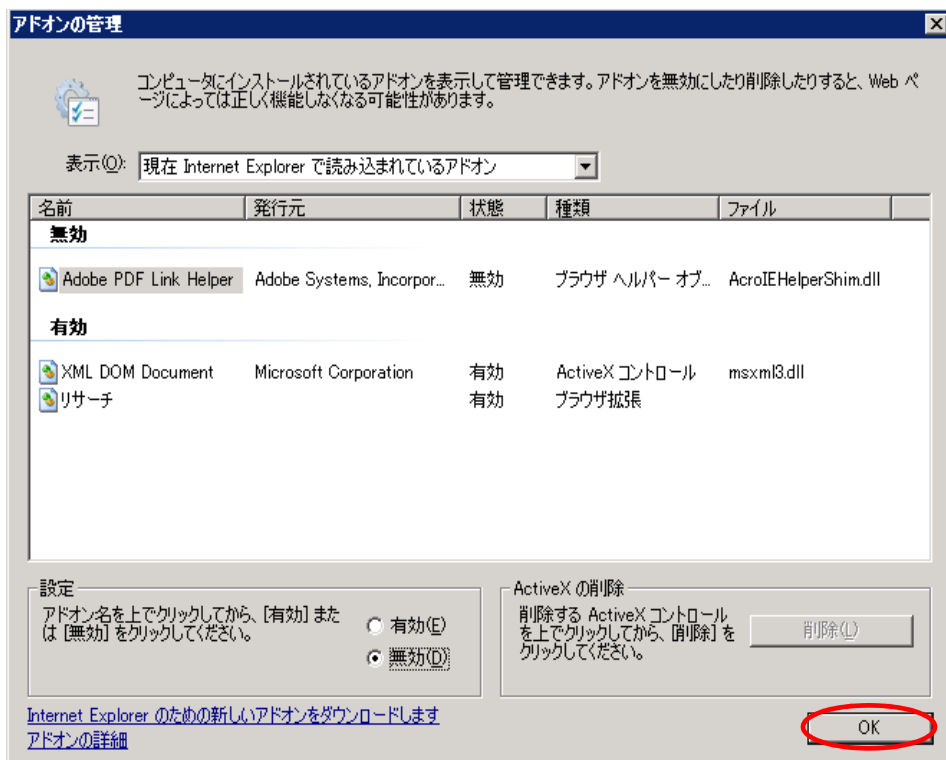


③無効にするアドオンを選択し、「設定」の「無効」のダイアログを選択します。



④③の作業を不要なアドオンすべてに対して行います。

⑤終了したら「OK」を押してください。



⑥もし、確認ダイアログが表示されたら「OK」を押してください。

⑦すべてのInternet Explorerを閉じ、再起動してください。

.....

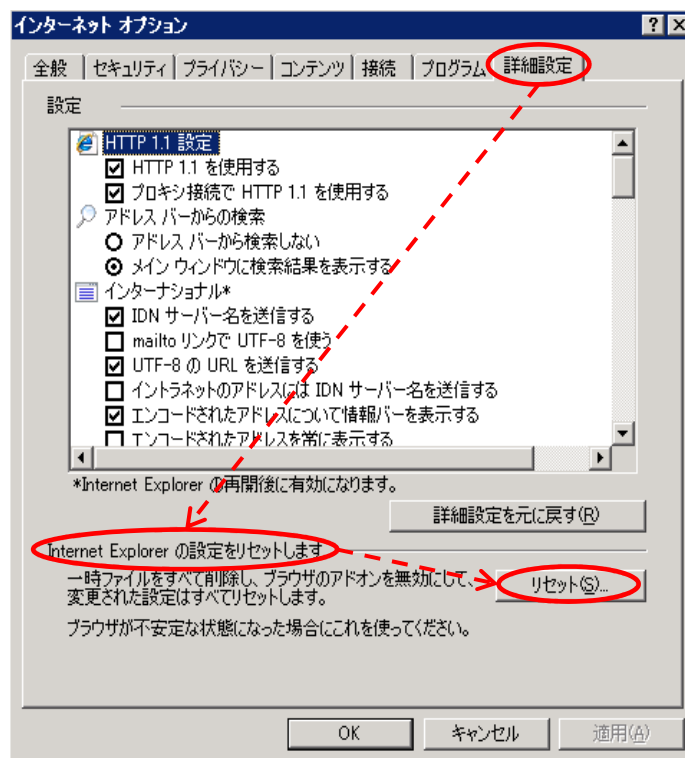
【対処方法6】 「インターネット一時ファイル、Cookieの削除」「アドオンの無効」を実施しても解決できない場合、「Internet Explorerの設定をリセット」してください。

※Internet Explorerの設定をリセットすると、Webシステムの設定だけでなく、その他個別に行った設定も初期状態に戻りますので、再度設定をやり直す必要があります。

① 「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。



② 「詳細設定」タブで、「Internet Explorerの設定をリセットします」の「リセット」を押してください。




③ 「閉じる」を押してください。

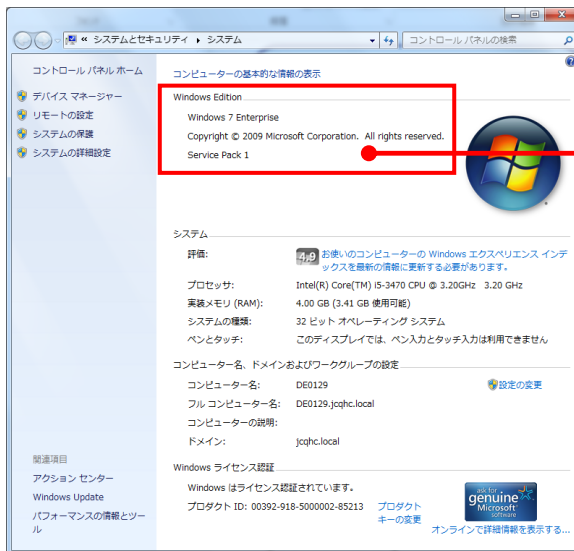
④ もし、確認ダイアログが表示されたら「OK」を押してください。

⑤ すべてのInternet Explorerを閉じ、再起動してください。

《参考》お使いのパソコンのOS・Internet Explorerの確認方法

OSの確認方法

- ①キーボードのWindowsキーと「Pause」キーを同時に押してください。
※Windowsキーとは、Windowsのロゴマーク（）のついたキーです。
- ②以下のような画面が表示されます。



左の画面では「Windows 7 Service Pack 1」と表示されています。

Internet Explorerの確認方法

- ①Internet Explorerを起動し、インターネットエクスプローラーの「ヘルプ」－「バージョン情報」をクリックしてください。



- ②下記画面の赤枠で囲んだ部分に、お使いのInternet Explorerのバージョンが表示されます。



左の画面では「Internet Explorer 11」と表示されています。